

ド あなたの運転、撮られています

ドライブレコーダーに記録された映像による交通ニュースをよく見かけます。ソニー損保が2023年6月に実施した調査によると、車を所有し月に1回以上車を運転する自動車ユーザーのドライブレコーダーの搭載率は52.5%となり、街で見かける車の多くにもドライブレコーダーが搭載されていると考えられます。ドライブレコーダーは本来、交通事故を記録するものでしたが、記録される映像は事故だけではなく、自車はもちろん、周囲の車の運転ぶりも記録されています。そのため、あおり運転をはじめとする危険な運転などはすぐにSNSにアップされたり、報道されているのです。「自分の運転は撮られている」という意識を普段から持つことで、安全運転を実践してください。

鹿 道を間違えたときは安易に進まない

児島市春山町の県道で高校生30人を乗せた貸切バスが道路下に横転し、10人が重軽傷を負う事故が発生しました。事故の原因は、バスの運転者（62歳）が経路を間違えて幅員3mほどの山道に入り、雨でぬかるんでいた路肩でタイヤを滑らせたものです。「4t以上の車は通行禁止」という標識があり、とても13tの大型バスが走行できるような山道ではありませんでしたが、運転者は、「道を間違え、到着時間が気になり動揺してしまった」「もう少し走れば広い道に出るのではないかと思った」などと話していて、冷静な判断ができていなかったようです。私達も、知らない場所で間違えて細い道などに入り込んでしまう可能性があります。間違いに気づいたとき、パニックになったり「このまま行けるかも知れない」と甘い期待を持たずに、すぐ安全な場所で停止して、地図やカーナビゲーションなどで自分がどこにいるのか確認しましょう。来た道に戻るほうが安全で、その方が結局早く目的地に到着する場合も多いものです。安易にそのまま走行してしまうと行き止まりなどで進退が極まったり、事故例のように崖から転落する危険などがあります。なお、経路を間違えないよう道路標識に注意し、事前に曲がる目印などを確認しておくことも重要です。



静 夜間の駐車は特に慎重に行おう

岡県内にある住宅の敷地内で、72歳の母親が運転する車が、庭こいた44歳の息子と衝突する事故が発生しました。詳しい状況は明らかにされていませんが、夜間ということもあり、車の進路に人がいたことに気がつかなかったことが考えられます。また、自宅ということもあり、油断や安心感から安全確認が疎かになってしまったことも考えられます。今回の事故のように、自宅の駐車場や敷地内で身内をはねてしまう縁故者事故はたびたび発生しています。運転中は最後まで気を抜かず、駐車時の安全確認を徹底してください。特に夜間は慎重に行うことを心がけましょう。